

目次

このユーザガイドの内容

目次の各行はすべてアクティブなハイパーリンクになっており、対応する項目に移動できます。

サイドバーのアイコンをクリックして章を移動することもできます。

注: このユーザ ガイドで説明する機能の一部はオプションです。システムによっては該当しない場合もあります。

ビデオ会議:概要
ベスト プラクティス4
その他のヒント4
自分のクレデンシャルでログインする5
エクステンション モビリティについて5
ビデオ コール
連絡先リストから発信する
連絡先リストについて7
発信前に連絡先を編集する8
エントリの編集について8
名前、電話番号、または IP アドレスを使用して発信する9
発信について9
着信-通話中でない場合10
着信があった場合10
通話中に別の通話に応答する11
着信があった場合11
通話の切断
切断について12
通話を保留にする/保留中の通話を再開する13
保留について13
対応中の通話を転送する
転送について
[応答不可(Do Not Disturb)] を有効化する15
応答不可について15
すべての通話の自動転送
通話の転送について16

通話中にキーパッドを表示する	17 18 18
Intelligent Proximity	
Intelligent Proximity の使用	21
プロキシミティについて	21
コンテンツ共有	
ゴンノンスト 通話でコンテンツを共有する	23
型品 C コンテン ク を 八 百 す る	
非通話時にコンテンツを共有する	
ローカル コンテンツの共有	
通話中にプレゼンテーション レイアウトを変更する	
プレゼンテーション レイアウトについて	
	20
予定された会議	0.7
予定された会議に参加する	
会議への参加	2/
連絡先	
[お気に入り(Favorites)]、[発着信履歴(Recents)]、	
[ディレクトリ(Directory)]	29
連絡先リストについて	29
通話中に [お気に入り(Favorite)] に追加する	
お気に入りについて	30

非通話時に[お気に入り(Favorite)] に追加する	
カメラ	
カメラ設定を表示する	. 30
カメラ操作について	. 30
カメラ位置プリセットの追加	. 34
カメラのプリセットについて	. 34
カメラ位置プリセットの編集	. 3!
プリセット編集について	. 3!
スピーカー トラッキング	. 36
スピーカー トラッキングについて	. 36
プレゼンタ トラッキング	. 3
プレゼンター トラッキングについて	. 3
カメラを操作する	
プリセット編集について	
自画面の管理	
プリセット編集について	
自画面 PiP のサイズを変更する	4(
自画面のサイズを変更する理由	4
自画面 PiP の移動	4
自画面を移動する理由	4
遠端カメラ制御	42
カメラ操作について	. 42
設定	
設定にアクセスする	
設定について	. 44



ビデオ会議:概要

ビデオ会議:概要

ベストプラクティス

効果的なビデオ会議では、出席者の距離がどれだけ離れていても、対面式の会議を行えます。ビデオ会議であっても、会議であることには変わりありません。通常のマナーや、服装を心がけるようにしてください。

会議室にて

- すべての発表の音声が拾われるよう、マイクをテーブルの前方に設置します。システムの正面から 2 m(6.5 フィート)以上離し、テーブルの正面からは 30 cm(1 フィート)以上離します。平らな面に設置してください。
- 指向性マイクは、ビデオシステムから反対 側に向ける必要があります。
- マイクの前方には、物などを置かないようにしてください。

- マイクは、テーブルに置かれたコンピュータ やプロジェクタのファンなどのノイズ源から 離してください。これらのノイズ源からの雑 音は、遠隔地の出席者には、予想以上に大き く聞こえます。
- ドキュメント カメラやホワイトボード カメ ラを使用する場合は、カメラと会議リーダー との距離や、カメラと専用コントローラとの 距離が縮まるように参加者を配置します。
- ホワイトボードを使用する場合は、ホワイトボードがメインカメラとホワイトボード専用カメラから見えるように配置することで、リモート参加者にもわかりやすい会議になります。テレビ放送では通常、この手法を用いてプレゼンターが実際に同じ部屋にいるように見せています。
- すべてのペリフェラルは、1人の出席者が手を伸ばして、会議の最中にポイント、ディスプレイ変更、記録などの操作を行える場所に置いてください。

- ・できるだけ自然な会議環境を演出するために、カメラは受信モニタの上部中央に置いてください(可能な場合)。遠くにいる会議の相手とアイコンタクトを行えるよう、カメラは、会議出席者に直接向ける必要があります。これは、ビデオシステムの[自画面(Selfview)]機能を使用して確認してください。自画面には、システムを通してリモート参加者に表示される映像(発信ビデオ)が表示されます。
- コンテンツを共有する場合、通常はデュオビデオを活用します。つまり、2本のビデオストリームを使用します。1本はプレゼンターンテーション用、もう1本はプレゼンター(またはプレゼンターグループ)用です。小規模なシステムでは、プレゼンテーションとプレゼンターのどちらか一方を選んで表示する必要に駆られることもあります。

その他のヒント

カメラのプリセットを使用する

Cisco TelePresence システムでは、 ズームおよびカメラの向き (パンと チルト)を事前定義できます。必要 であれば、これらを使用し、発表者 にズームします。後からズーム アウ トすることを忘れないでください。 これは、カメラ トラッキング機能が あるシステムでは不要です。

スピーカーの音量

オーディオ システムでは、モニタ に内蔵されたスピーカか、Cisco Digital Natural Audio Module を使用 します。

システムによっては、モニタのリ モートを使用してボリュームを調整 し、デフォルトのボリュームを設定 できます。

明るさのコントロール

モニタの明るさや色などの設定を調整するには、モニタのリモートコントロールを使用してください。会議室の条件に合わせて、モニタを調整してください。シスコのモニタには、非常に簡単に使用できる、画面上のメニューがあります。各モニタの設定方法については、該当するユーザガイドと管理マニュアルを参照してください。

自分のクレデンシャルでログインする

2 Extension Mobility Representation of the Company of the Compan

Extension Mobility

Extension Mobility

Extension Mobility

A United Profession Mobility

Extension Mobi

図のように[ログイン(Login)]を タップします。

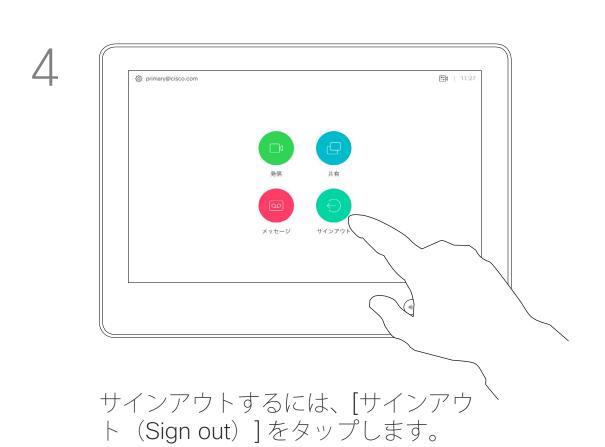
エクステンション モビリティについて

会議室や静音室に設置されている、CUCM(Cisco Unified Communications Manager)の管理下で実行されているビデオシステムには、各自の資格情報でログインできます。

CUCM により、自分宛ての着信通話は、ログインしているビデオ システムにすべてルーティングされます。

エクステンション モビリティからログアウトすると、[発着信履歴(Recents)]の一覧はシステムからクリアされます。

エクステンション モビリティはホッ トデスキングとも呼ばれます。



は、自分のクレデンシャルでサインインする

[エクステンション モビリティ (Extension

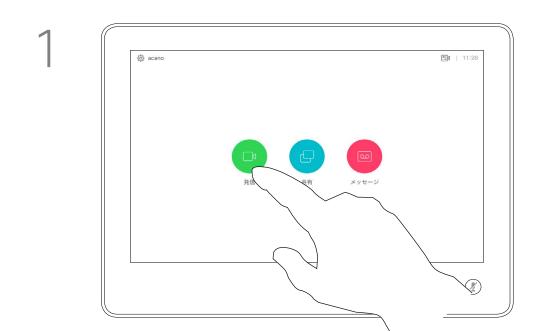
ためのボタンが用意されています。

Mobility)] ボタンをタップします。

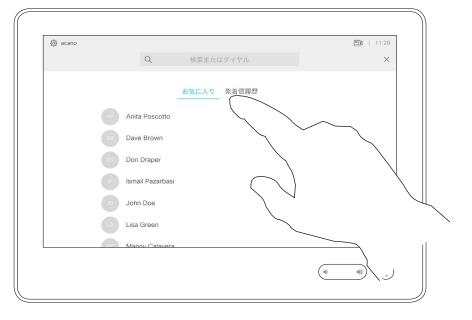


ビデオコール

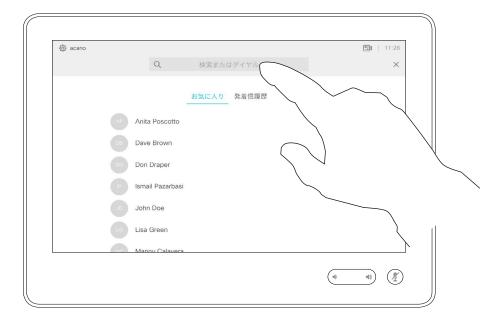
ビデオ コール 連絡先リストから発信する



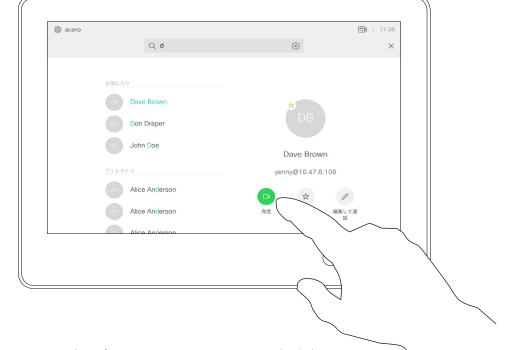
[発信(Call)] ボタンをタップします。



特定のリスト(「お気に入り (Favorites)]、[ディレクトリ (Directory)]、または[発着信履歴 (Recents)])で通話相手を検索する には、そのリストをタップし、下へス クロールしてエントリを探します。



または、[検索またはダイヤル (Search or Dial)]フィールドをタッ プします。仮想キーボードが表示さ れ、すべてのリストでエントリが検索 されます。



通話先が見つかったら、名前を タップし、緑色の[発信(Call)] ボタンをタップします。

連絡先リストは、次の3つの部分で 構成されています。

連絡先リストについて

[お気に入り(Favorites)] の連絡先 は自分で設定します。通常は、頻繁 に通話する相手や、すばやく簡単に 連絡を取りたい相手を指定します。

[ディレクトリ (Directory)]は通 常、ビデオ サポート チームがシス テムにインストールした社内ディレ クトリです。

[発着信履歴 (Recents)]は、発 信、受信、不在着信のリストです。

次のオプションが適用されます。

- 名前、番号、または IP アドレスを 入力できます。ここでは、すべて のリストから検索されます。
- [お気に入り (Favorites)] のリス トにエントリを追加したり、通話 前にエントリを編集したり、帯域 を変更したり、エントリを[発着信 履歴 (Recents)]から削除したり することができます。

名前、番号、または IP アドレスを 入力します。

> 入力した文字と一致するエントリが 表示されます。

力するには、*を長押しします。

IP アドレスで使用するドットを入



特殊文字を含む拡張数字モードを利用で きます。

英数字モードと拡張数字モードを切り替 えるには、キーボードの左下隅にある キーをタップします。

D1534508 Cisco TelePresence ユーザ ガイド Touch10 を使用するシステム 作成日:2017年11月(CE9.2) All contents © 2010-2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

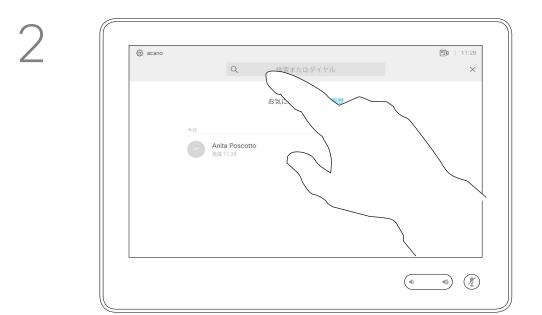
ビデオコール 発信前に連絡先を編集する

エントリの編集について

連絡先リストの入力方法について

は、前ページを参照してください。

[発信(Call)] ボタンをタップします。



前のページに示すように、[検索またはダイヤル (Search or Dial)]フィールドをタップするか、いずれかのリストをスクロールします。

発信する前に、[連絡先(Contact)] リストのいずれかのエントリを編集 する必要があるかもしれません。た とえば、正しく発信するために、プ レフィックスやサフィックスを追加 するか、またはエントリ自体を変更 する必要があるかもしれません。

3

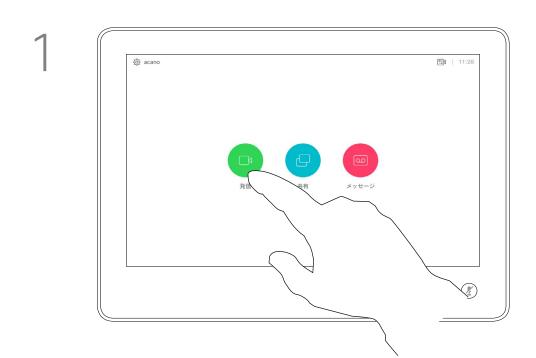


見つけたエントリをタップすると、[発信 (Call)]メニューが表示されます。図のように、[発信(Call)]メニューで[編集して 通話(Edit and Call)]をタップします。

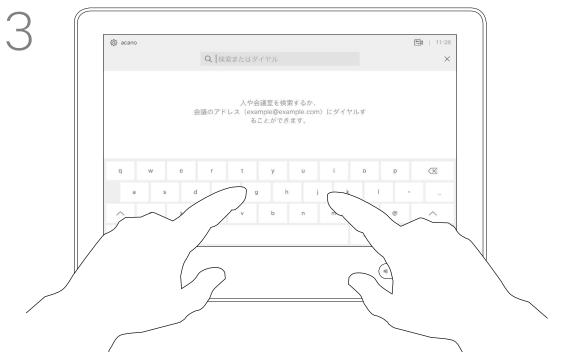


ビデオコール

名前、電話番号、または IP アドレスを使用して発信する

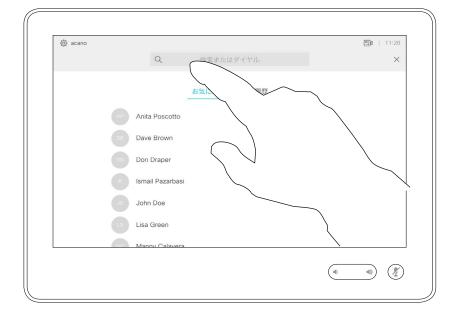


[発信(Call)] ボタンをタップします。



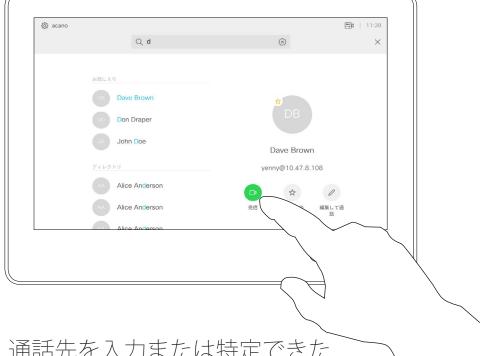
名前、番号、またはアドレスを入力します。入力内容に合わせて、一致する可能性のあるものや候補が表示されます。正確に一致するものがリストに表示されたら、タップします。表示されない場合は入力を続けます。

2



[検索またはダイヤル(Search or Dial)] フィールドをタップします。この操作を行う と、キーボードが表示されます。

4



通話先を入力または特定できたら、名前をタップしてから、緑色の[発信(Call)] ボタンをタップして発信します。

発信について

連絡先のリストに載っていない相手 に発信するには、タッチパッドの仮 想キーボードを使用して名前、アド レス、または番号を入力します。

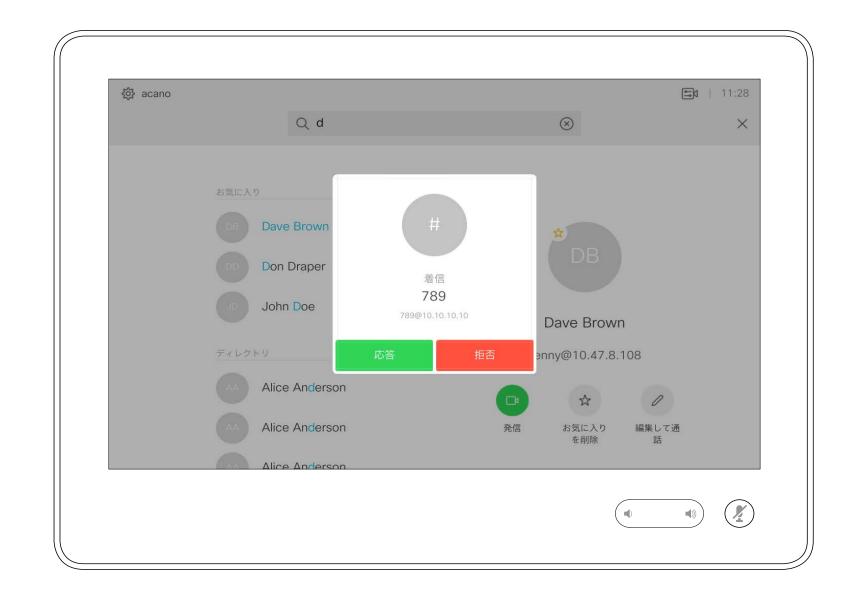
これまでの発信先または着信元がすべて[発着信履歴 (Recents)]リストに表示されます。これらの発信先または着信元は[お気に入り(Favorites)]リストに転送できます。これについては、「連絡先」セクションで説明しています。

内線番号や暗証番号を入力する場合 など、通話中に数字の入力が必要に なることがあります。

この場合に必要なキーパッドを呼び出すには、[トーン信号(Touch Tones)] (このボタンは、発信するとすぐに表示されます)をタップします。

[発着信履歴(Recents)] をクリア できるのは Web インターフェイス からのみであることに注意してくだ さい。

ビデオコール 着信一通話中でない場合



着信通話は、応答または拒否できます。

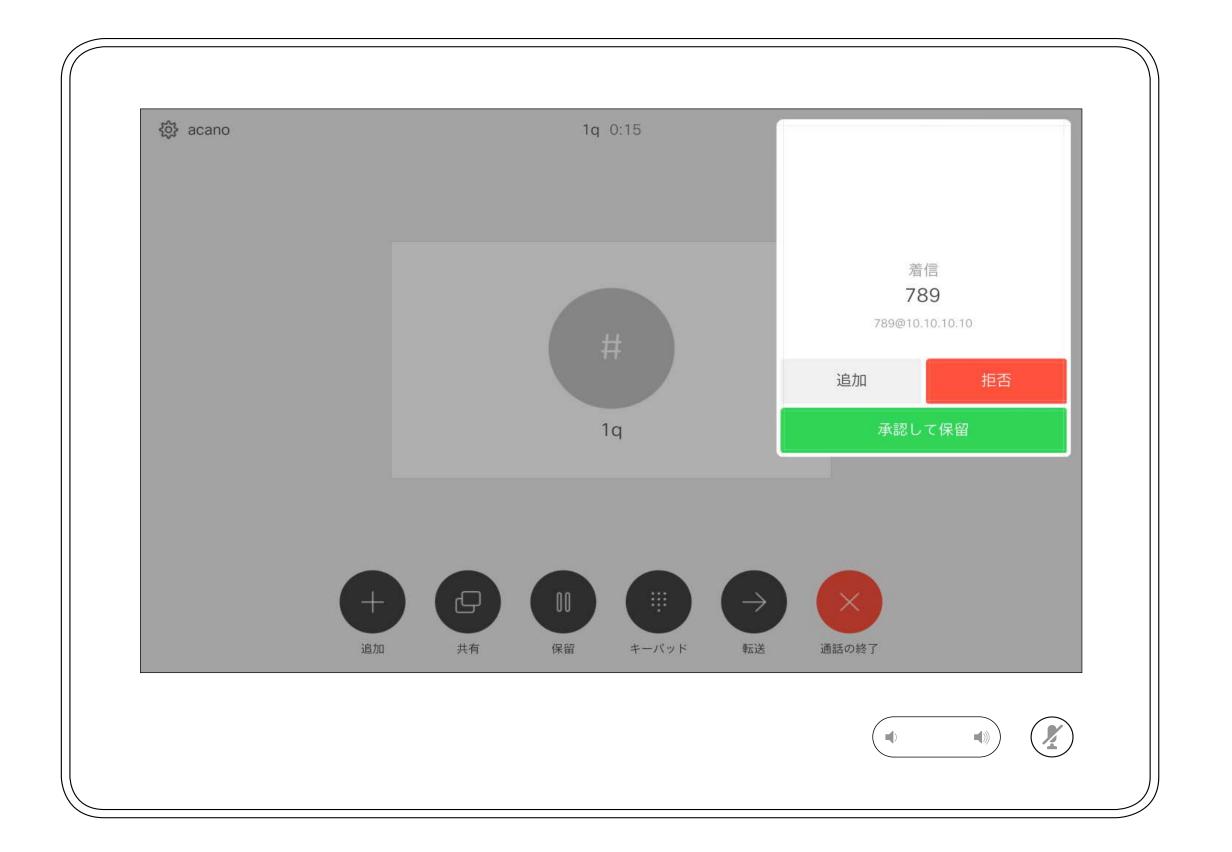


複数の通話の着信が可能なシステムでは、すべて追加またはすべて拒否 を選択できます。

着信があった場合

- 着信があった場合は、通話を許可、拒否、または無視できます。
- 通話を拒否した場合、ビジーであるという情報が発信者に送信されます。
- 通話を無視する場合、発信者に とっては不在状態(電話を取らな かった)と同じになります。
- ビデオインフラストラクチャに よっては、複数の着信通話を受信 できます。必要に応じて、貴社の ビデオサポートチームにお問い合 わせください。

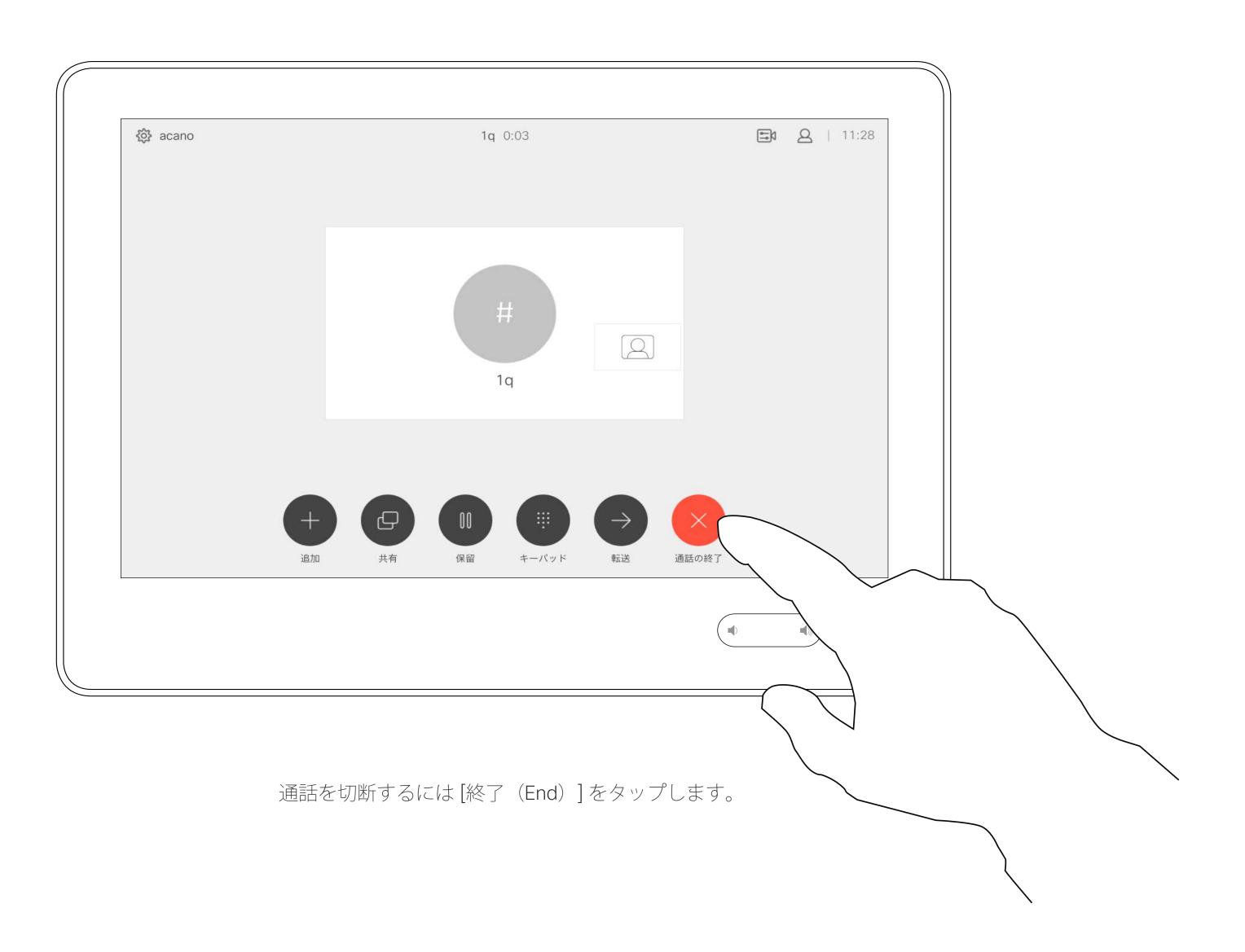
ビデオコール 通話中に別の通話に応答する



着信があった場合

特定の状況下では、通話中に別の着 信を受け入れることができます。

ビデオコール 通話の切断



切断について

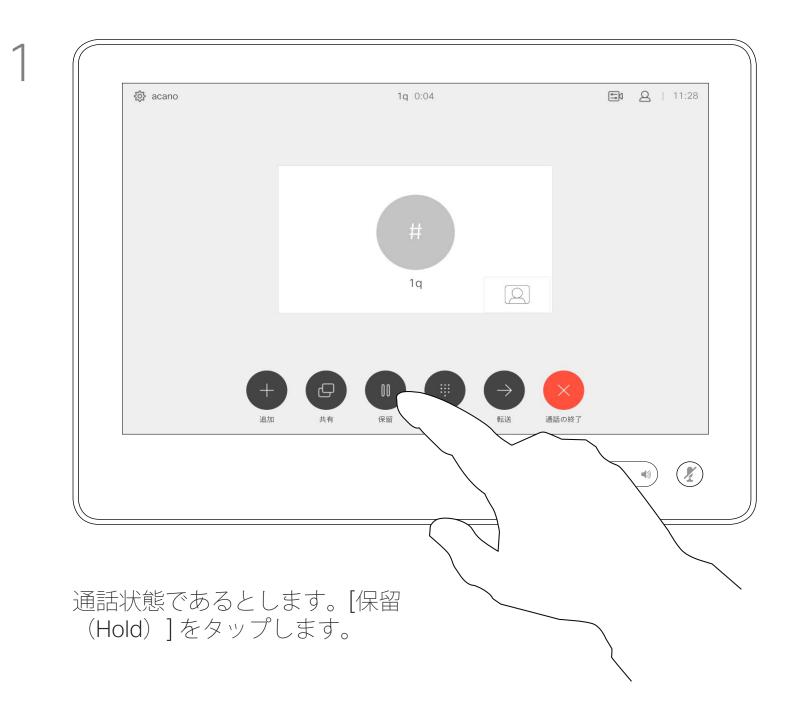
通話中に [終了 (End)] をタップすると、通話から切断されます。2者間通話では、これで通話が終了します。

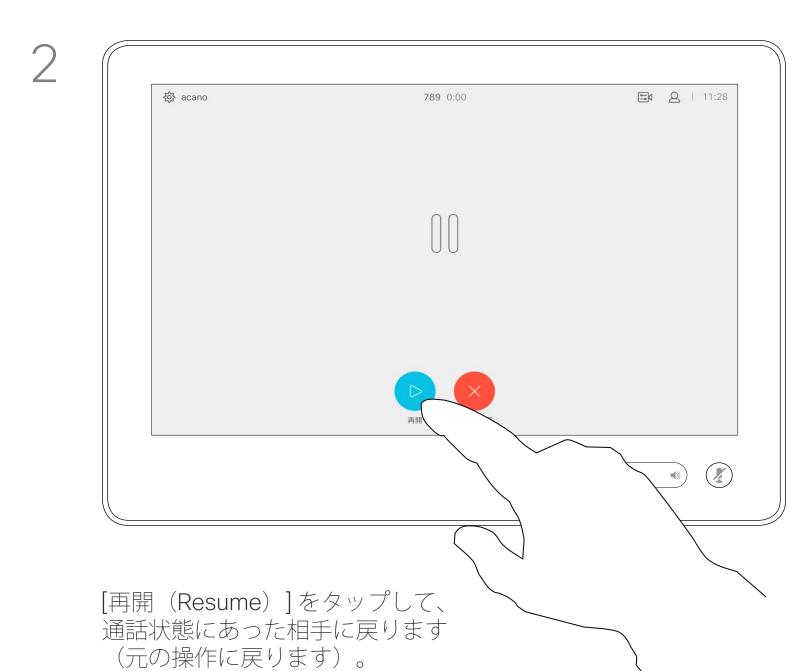
複数の参加者がいる電話会議では、 [終了(End)] をタップすると、自 分が通常の参加者である場合にの み、自分の参加が終了されます。

ただし、自分がこの会議のホストである場合、[終了(End)]をタップすると、会議の種類によっては、会議全体が終了することがあります。

ビデオ コール

通話を保留にする/保留中の通話を再開する



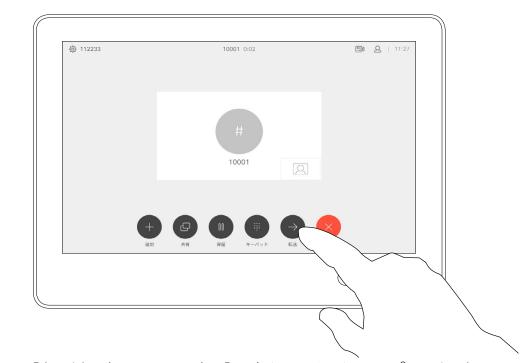


保留について

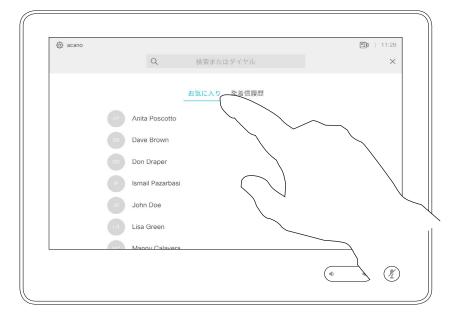
通常、相手を保留にする操作は、他の人に転送する場合の最初のステップとして行うものですが、打診が必要な場合や、ビデオ送信の停止などを含むミュートの代わりとしても使用できます。

ビデオコール対応中の通話を転送する

1

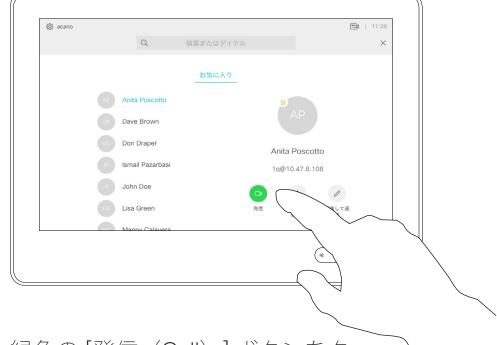


[転送(Transfer)] ボタンをタップします。 この操作で、現在の通話が保留になります。 2



通常の方法で、発信先を探します。

3



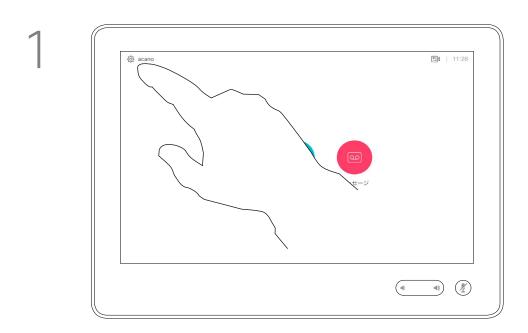
緑色の[発信(Call)]ボタンをタップします。発信先の相手と話して、転送しても構わないか確認します。転送される側は、保留のままになっています。

4



対応中の通話を別の人に転送することができます。転送する場合は常に打診をします。つまり、実際に通話を転送する前に、転送先の相手と話すことができます。

ビデオ コール [応答不可 (Do Not Disturb)]を有効化する



図のように左上隅をタップします。

② acano
② bicano
② bicano
② bicano
② bicano
③ bicano
⑤ bicano
⑤ bicano
⑤ bicano
⑥ bicano
⑥

図のように[応答不可(Do not Disturb)] をタップします。この機能を非アクティブにするには、同じ手順を繰り返します。

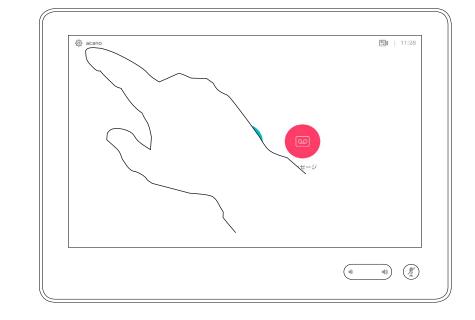
応答不可について

システムでは、着信に応答しないように設定できます。ただし、こちらからは必要時にいつでも発信できます。

ビデオ サポート チームが、この機能のタイムアウトを設定している場合があります。タイムアウト後は、通常のように着信に応答できるようになります。デフォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

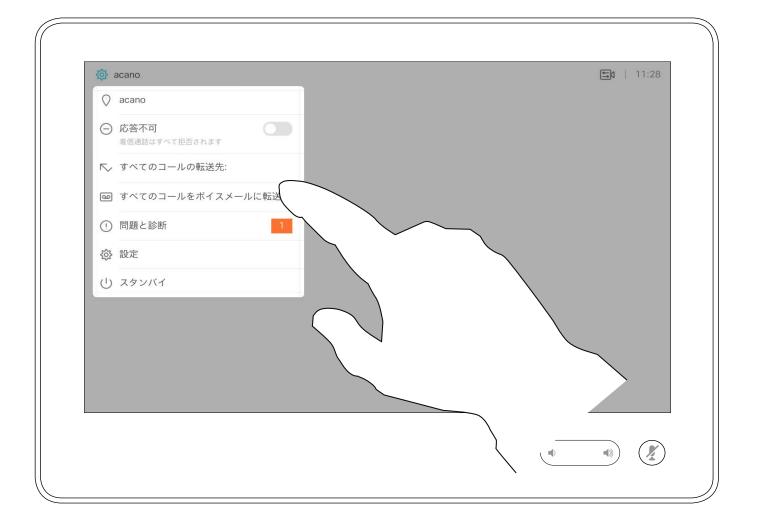
ビデオコール すべての通話の自動転送





図のように左上隅をタップします。

 \bigcirc



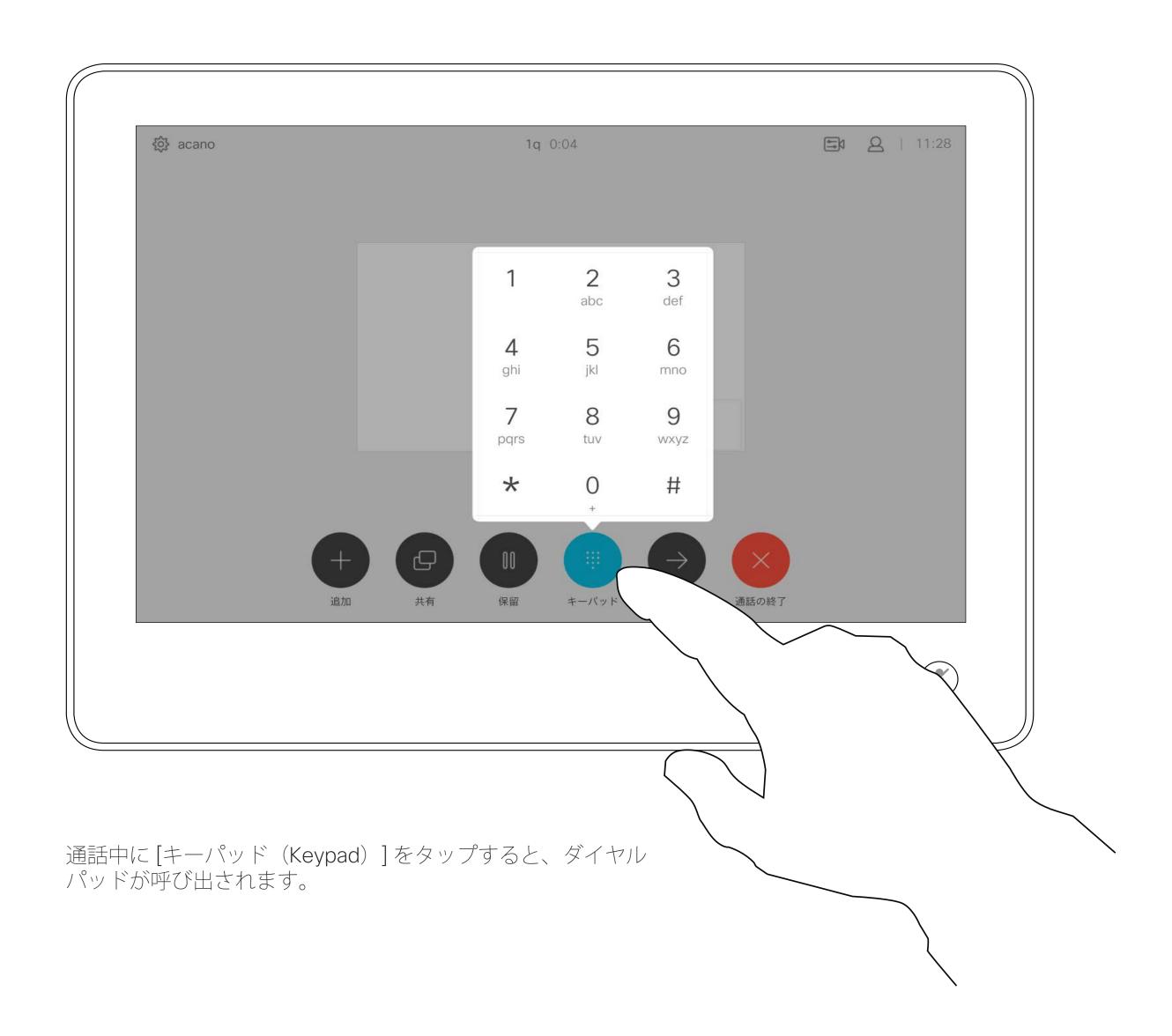
指定した受信者、または自分のボイスメールに、すべての通話 を転送することができます。

通話の転送について

ビデオ サポート チームが、受信したすべての通話を転送するオプションを有効にしている場合があります。ボイスメール、または、指名した受信者を選択できます。

[すべての通話の転送先(Forward all calls to...)] をタップすると、いつもの[発信(Call)] メニューが表示され、受信者を指定できます。

ビデオコール 通話中にキーパッドを表示する



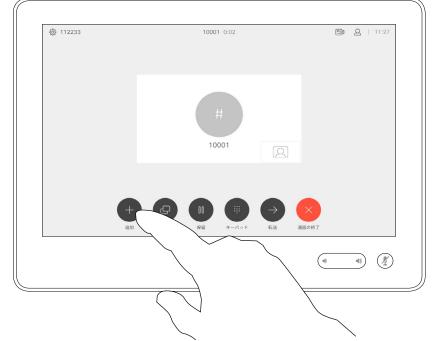
通話中のキーパッドの使用

通話中、内線にかけるために、または何か(暗証番号など)を入力するためにダイヤル操作が要求されることがあります。

これを送信できるようにするには、 タッチ スクリーンにキーパッドを呼 び出す必要があります。

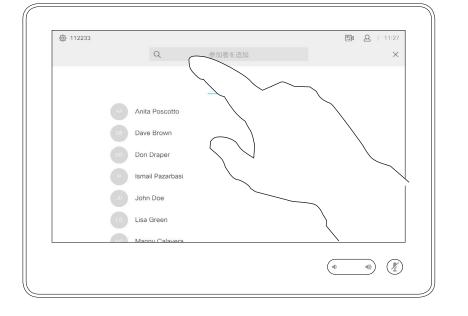
ビデオコール 既存の通話に参加者を追加する

1



すでに通話状態であるとします。この通話は、自分または他の誰か(通話相手)が発信しています。[追加(Add)]をタップします。

2

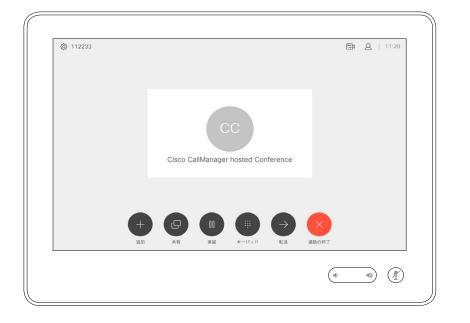


通常の方法で、発信先を探します。

3



4



これで新しい通話が既存の通話に追加され、会議が確立されます。

この手順を繰り返すことで、ビデオ インフラストラクチャが対応している人数まで参加者を増やすことができます。

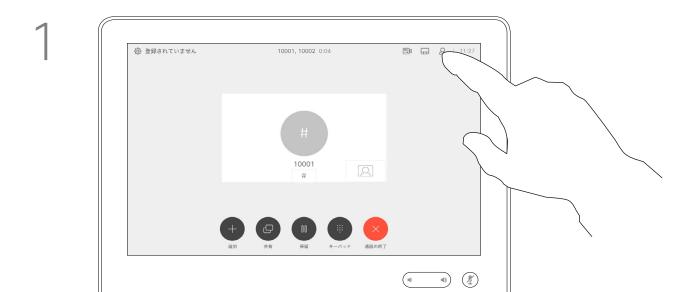
ビデオ会議について

ビデオ システム ネットワークに は、複数の参加者とビデオ会議を開 始する機能が備わっている場合があ ります。

で使用のビデオ システムでサポート されている参加者の最大人数は、システム構成とビデオ インフラストラクチャによって決まります。ご不明 な場合は、ビデオ サポート チーム にお問い合わせください。

ビデオ会議を開始する場合は、各参加者に 1 人ずつ電話をかける必要があります。

ビデオコール会議から参加者を切断する



通話中に、図のように、右上隅の参加者アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



[ドロップ (Drop)]をタップします。

2



会議から切断する参加者をタップします。

ビデオ会議について

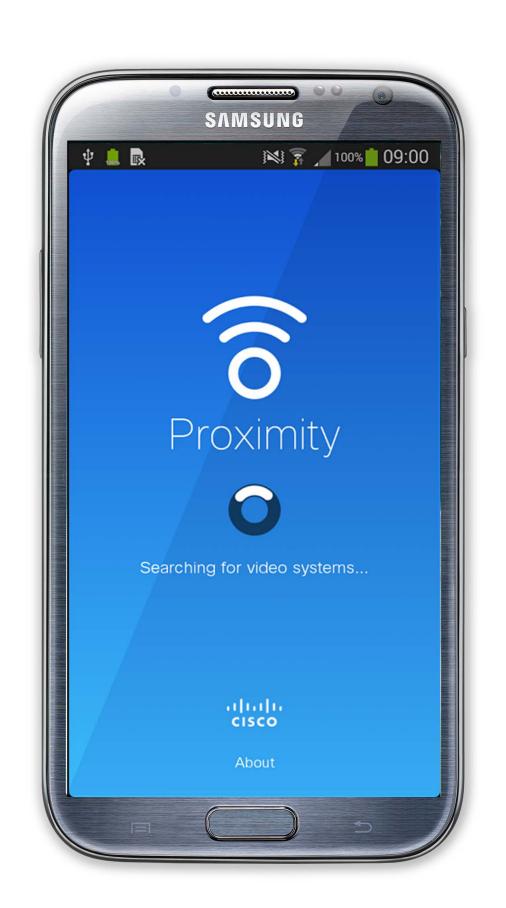
ビデオシステムからビデオ会議を実行する機能はオプションであり、システムによっては使用できない場合があります。

会議から他の参加者を切断するに は、会議のホストである必要があり ます。



Intelligent Proximity

Intelligent Proximity の使用



プロキシミティについて

Intelligent Proximity 機能を使用すれば、手元の端末(スマートフォン、iPad、Android タブレット、PC、Mac)でワイヤレスにビデオ システムのコンテンツを共有できます。

また、自分の端末(スマート フォン とタブレットのみ)を使用してビデオ システムの通話を制御することもでき ます。

次のことを確認します。

App Store または Google Play から、 Cisco Intelligent Proximity アプリケー ション (無料) をダウンロードする必 要があります。

Windows または OS X を使用している 場合は、<u>https://proximity.cisco.com/</u> [英語] にアクセスしてください。

ビデオ サポート チームは、すべての 機能を有効にしている場合も、無効に している場合も、一部の機能だけを有 効にしている場合もあります。

Intelligent Proximity では、ユーザとの接続に超音波を使用します。コンピュータ、スマートフォン、タブレットのマイクをふさがないようにしてください。

Intelligent Proximity は、会議室の扉が 閉じているときに部屋の外で動作しな いように設計されています。この機能 を使用するには、ビデオ エンドポイ ントの近くにいる必要があります。

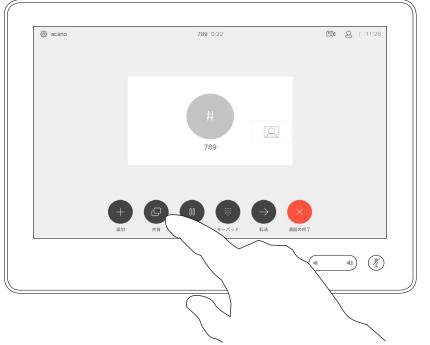
プライバシーの保護が必要な場合は、 常に会議室の扉を閉めて、 隣室に音が 漏れないように配慮してください。



コンテンツ共有

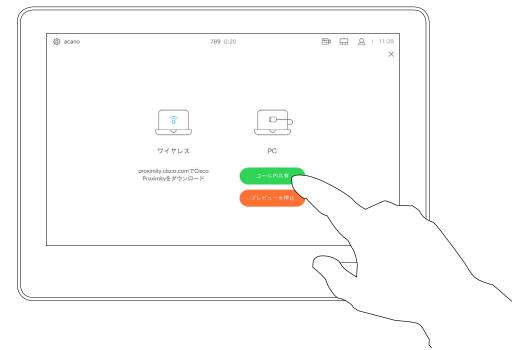
コンテンツ共有

通話でコンテンツを共有する



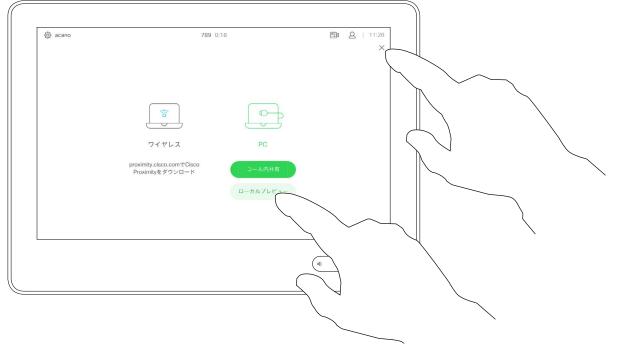
送信元とビデオ システムを適切なケーブル で接続し、スイッチがオンになっているこ とを確認してから [共有 (Share)] をタップ します。

3



プレビューを中止するには、[プレビューを中止 (Stop preview)]をタップします。

リモート参加者とコンテンツを共有するには、 [通話中に共有(Share in call)] をタップし ます。 2



共有するコンテンツを自分のビデオ システムだけで表示するには、[ローカル プレビュー (Local preview)]をタップします。これはリモート参加者とは共有されません。

前の画面に戻るには、図のように右上隅の[X] をタップします。

4



リモート参加者とのコンテンツ共有 を中止するには、[共有を停止(Stop Sharing)] をタップします。

コンテンツの 共有について

お使いのビデオ システムは、ビデオ 通話でプレゼンテーションを表示す る機能をサポートしています。

送信元端末で Intelligent Proximity が 有効になっている場合は、端末でプ ロキシミティをオンにして、端末と ビデオ システムをペアリングするだ けで、コンテンツをワイヤレスで共 有できます。

プレゼンテーション中に画面のレイ アウトを変更できます。詳細は以降 のページを参照してください。

注:お使いのシステムは、ビデオシステムのビデオ入力コネクタのいずれかによって HDCP で保護されたコンテンツを共有し、Google ChromeCast、AppleTV、HD テレビデコーダーなどを介してビデオを視聴できるように構成されている場合があります。

この機能は、非通話時のみ利用可能です。

通話中に特定のビデオコネクタを使用してコンテンツを共有しようとしても、コンテンツは共有されません。代わりに、通常はコンテンツ共有に割り当てられる画面の一部が、HDCP 保護を維持するために黒くなります。

これは、この入力コネクタを利用して通話中に共有を試みたすべてのコンテンツに適用されます。コンテンツが HDCP で保護されているかどうかを問いません。

コンテンツ共有 非通話時にコンテンツを共有する

② acano ② acano ③ acano — 11:28

送信元端末とビデオシステムを適切なケーブルで接続し、スイッチがオンになっていることを確認してから[共有(Share)]をタップします。



(Stop Sharing)] をタップします。

2



ビデオ システムの画面内容を表示するには、 [共有(Share)] をタップします。

前の画面に戻るには、図のように右上隅の[X]をタップします。

ローカル コンテンツの共有

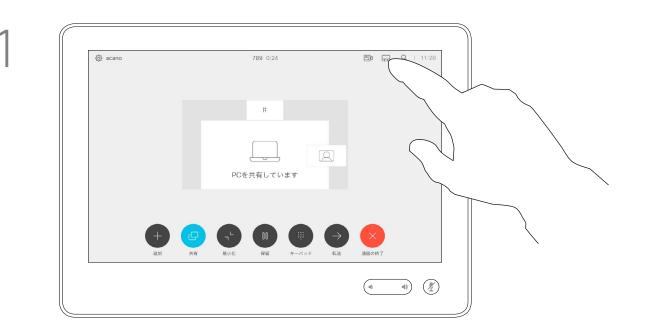
ローカル会議でビデオ システムを使用して、非通話時にコンテンツを表示して共有することもできます。

送信元端末で Intelligent Proximity が 有効になっている場合は、端末でプロキシミティをオンにして、端末と ビデオ システムをペアリングするだけで、すぐにコンテンツを共有できるようになります。

注:お使いのシステムは、ビデオシステムのビデオ入力コネクタのいずれかによって HDCP で保護されたコンテンツを共有し、Google ChromeCast、AppleTV、HD テレビデコーダーなどを介してビデオを視聴できるように構成されている場合があります。詳細については、前のページも参照してください。

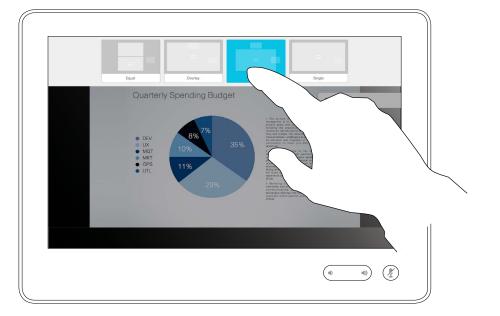
コンテンツ共有

通話中にプレゼンテーション レイアウトを変更する



図のようにレイアウトアイコンをタップします。

2



使用するレイアウトをタップします。終わったらスライド以外の場所をタップします。

プレゼンテーション レイアウトについて

プレゼンテーション中に画面のレイ アウトを変更できます。選択できる オプションには、プレゼンターの表 示/非表示、プレゼンターを PiP (ピ クチャインピクチャ) で表示する、 PoP (ピクチャ アウトサイド ピク チャ) で表示する、があります。

で使用のシステムで選択できるレイアウトオプションは、ここに示すオプションと異なる場合がありますが、表示されるレイアウトを選択すれば切り替えられます。



予定された会議

11:29 ☼ acano 始まりました QA sync with Bangalore 11:29 - 11:54 これ以降の会議はありません

予定された時間になると、会議に参加するように要求されます。[参加(Join)] をタップします。

会議への参加

ビデオ会議をスケジュールすること ができる管理システムに、ビデオ シ ステムを接続することができます。 左の図のように、予定されている会 議が表示されます。

会議に参加するには[参加(Join)] をタップします。

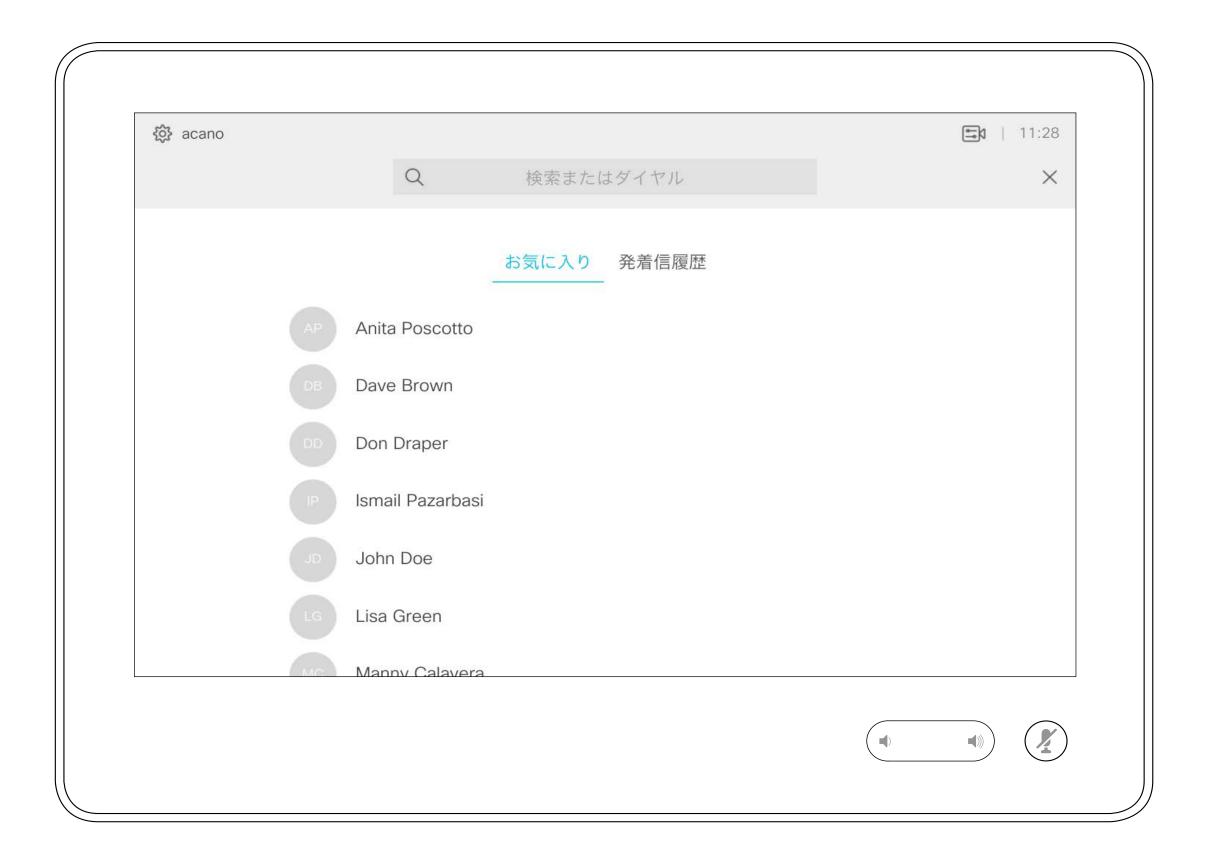
会議がすでに開始されている場合で も参加できます。



連絡先

連絡先

[お気に入り(Favorites)]、[発着信履歴(Recents)]、 [ディレクトリ(Directory)]



連絡先リストについて

連絡先リストは、次の3つの部分で構成されています。

[お気に入り(Favorites)]の連絡先は自分で設定します。通常は、頻繁に通話する相手や、すばやく簡単に連絡を取りたい相手を指定します。

[ディレクトリ (Directory)]は通常、ビデオ サポート チームがシステムにインストールした社内ディレクトリです。

[発着信履歴(Recents)] は、発 信、受信、不在着信のリストです。

[発着信履歴(Recents)] からの エントリの削除は、Web インター フェイスでのみ行うことができ ます。

お気に入りについて

[お気に入り (Favorites)]は、頻繁に

通話する、または簡単にアクセスし

たい相手を含む連絡先リストです。

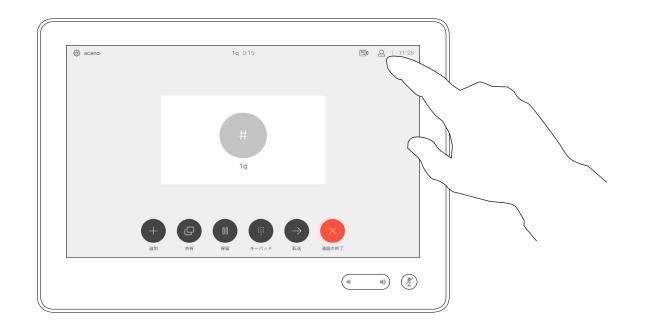
[お気に入り(Favorites)] は、[発着

信履歴(Recents)] または[ディレ

クトリ (Directory)]リストから選

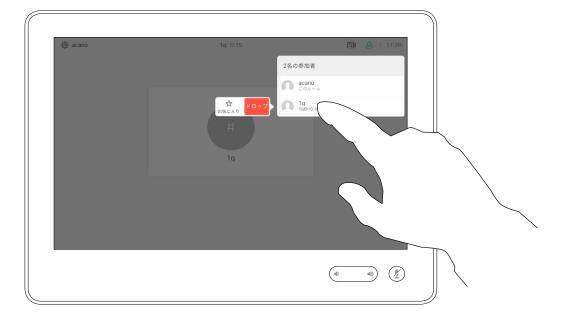
択するか、手動で入力できます。

通話中に[お気に入り (Favorite)]に追加する



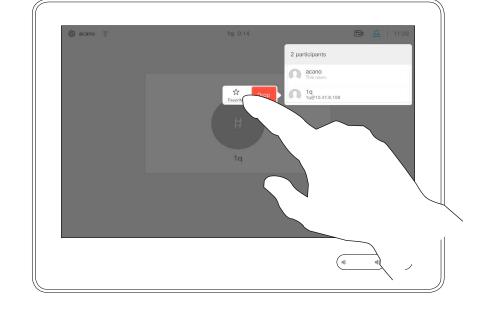
通話中に、図のように、右上隅の**参加者**アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。

2



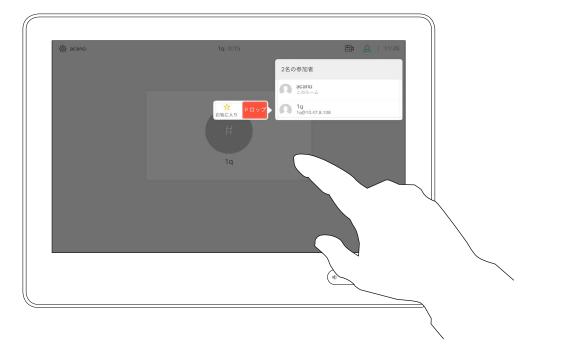
参加者のリストで、[お気に入り(Favorite)] に追加する参加者をタップします。

3



[お気に入り(Favorite)] をタップします。

4



参加者が [お気に入り(Favorite)] のリストのメンバーになります(スターが金色に変わる)。

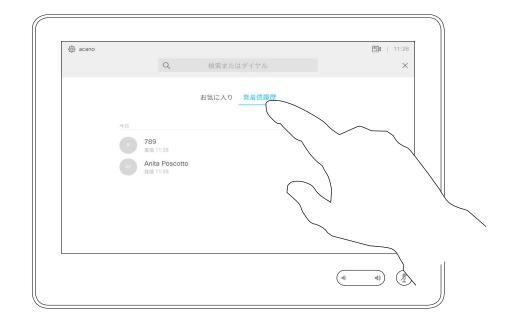
[お気に入り (Favorites)] リストからエントリを削除するには、[連絡先 (Contacts)] の中の[お気に入り (Favorites)] に移動して、この手順を繰り返します。

終わったらメニュー以外の場所をタップします。

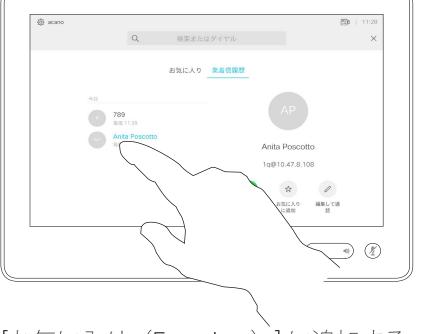
D1534508 Cisco TelePresence ユーザ ガイド Touch10 を使用するシステム 作成日:2017 年 11 月 (CE9.2) All contents © 2010-2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

非通話時に[お気に入り(Favorite)] に追加する

1



図のように、[発信(Call)](図示せず)をタップして、[連絡先(Contacts)] リストを呼び出します。[発着信履歴(Recents)] または [ディレクトリ(Directory)] をタップして、[お気に入り(Favorites)] に追加するエントリを探します。



[お気に入り(Favorites)] に追加するエントリをタップします。それによって上の画面が表示されます。

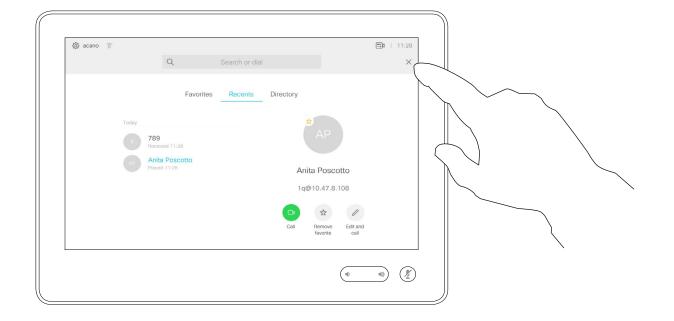
3



をタップします。エントリが [お気に入り

(Favorite)] に追加されます。

4



お気に入りは、図のように金色のスターで示されます。

[お気に入り(Favorite)] のリストからエントリを 削除するには、この手順を繰り返します。

このメニューを終了するには、図のように [X] を タップします。

D1534508 Cisco TelePresence ユーザ ガイド Touch10 を使用するシステム 作成日:2017 年 11 月 (CE9.2) All contents © 2010-2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved この機能について

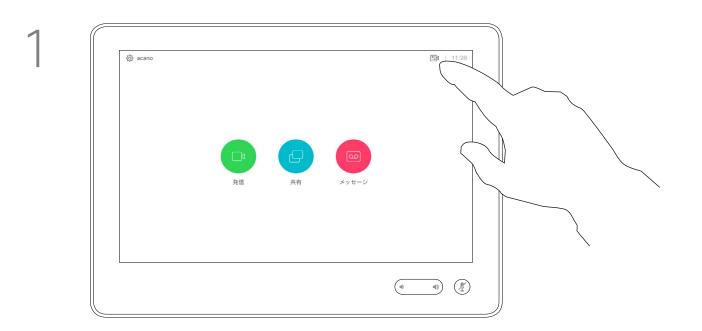
[お気に入り(Favorites)] は、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

[お気に入り(Favorites)]は、[発着 信履歴(Recents)]または[ディレク トリ(Directory)]リストから選択す るか、手動で入力できます。

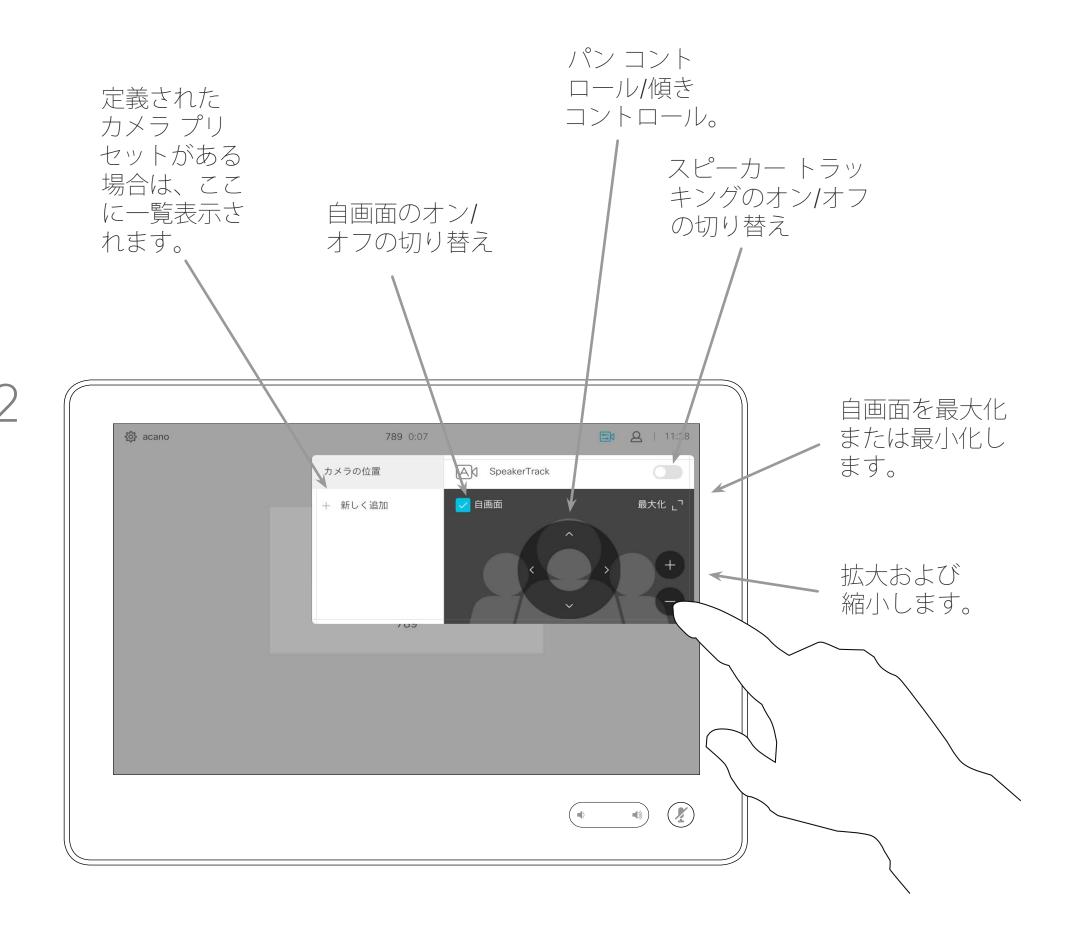


カメラ

カメラ カメラ設定を表示する



カメラをタップして、カメラ調整メ ニューを呼び出します。



カメラ操作について

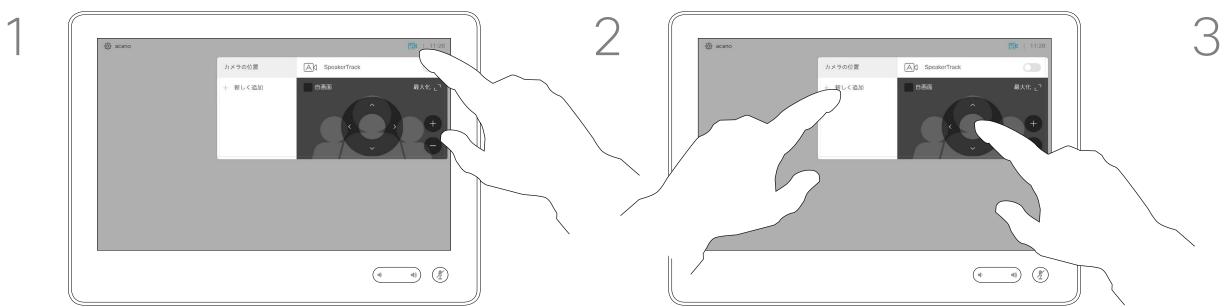
カメラ設定では、カメラのズーム、 パン、チルトを制御できるほか、カ メラ位置プリセットの定義や編集も できます。

さらに、自画面(システムから他の 参加者に送信される画像)のオン/オフ、表示の最小化/最大化の切り替え が可能です。

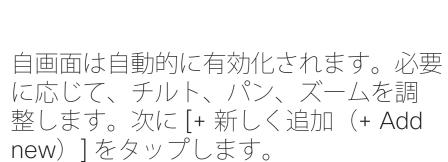
画面の重要な部分を自画面が覆っている場合は、自画面の位置を移動できます。

スピーカートラッキングを備えたシ ステムでこれをオンにすると、その 時点の話者にカメラ システムがズー ムインします。

カメラカメラ位置プリセットの追加



カメラをタップして、カメラ調整メ ニューを呼び出します。





テキスト フィールドをタップします。

カメラの プリセットについて

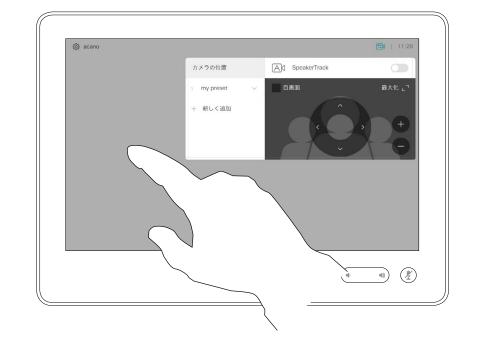
で使用のビデオ システムでは、ズームおよびカメラの向き (パンとチルト)を事前定義できます。必要であれば、これらを使用し、発表者にズームします。後からズーム アウトすることを忘れないでください。

つまり、ズームイン プリセットを 1 つまたは複数作成する場合は、 ズームアウト(全体表示) プリセッ トも作成して、全体表示モードに簡 単に切り替えられるようにする必要 があります。

相手先カメラ、つまり、他のいずれかの参加者のカメラも制御できます (リモート操作可能な場合)が、それらのプリセットは定義も使用もできません。



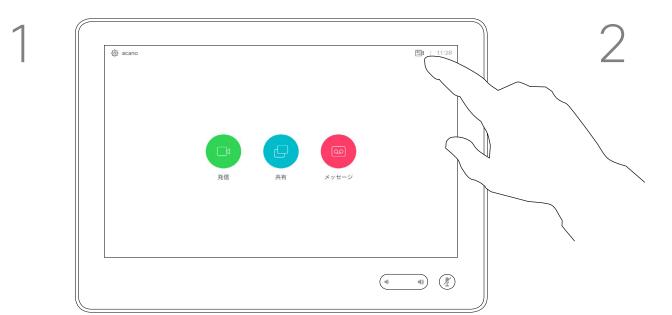
されます。



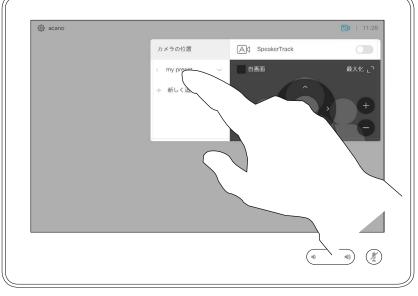
終わったらメニュー以外 の場所をタップします。

カメラカメラ位置プリセットの編集

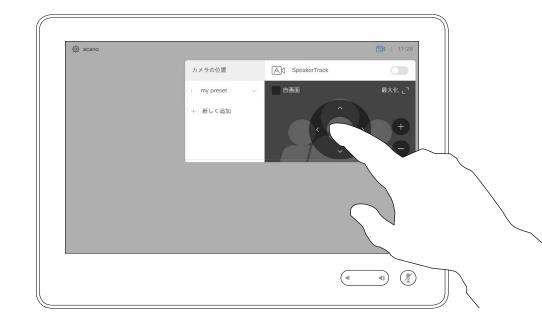
プリセット編集について



カメラをタップして、カメラ メニューを 呼び出します。



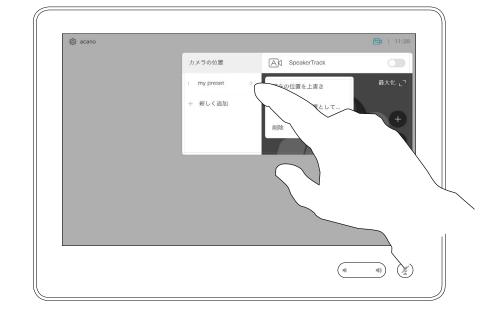
編集するプリセットをタップします。 自画面は自動的に有効化されます。



必要に応じて、**パン、チルト、ズーム**を 調整します。

「プリセット編集」とは、既存のプリセットを取得して変更し、同じ名前で保存することです。

名前を変更する場合は、プリセット を削除してから、適切な名前で新し いプリセットを作成することをお勧 めします。



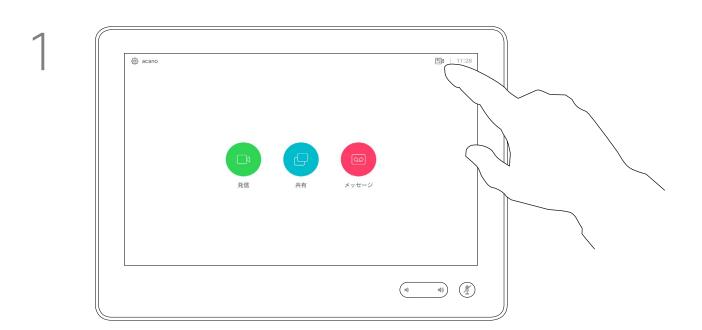
編集するプリセットの小さな矢印を タップします。



[現在のポジションを上書き (Update to current position)]を タップして変更を適用します。 既存のプリセットを削除するに は、[削除(Remove)]をタップ します。



カメラ スピーカー トラッキング



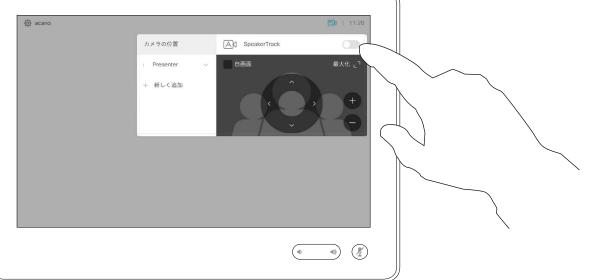
[スピーカートラッキング (Speaker Tracking) を有効にするには、右上隅のカメラをタップします。

(I)

カートラッキング (Speaker Tracking)] 機能をアクティブにします。



メニュー以外の場所をタップして終了します。 [スピーカートラッキング (Speaker Tracking)] を非アクティブにするには、この手順を繰り返 します。



右上隅にあるボタンをタップして、[スピー

スピーカー トラッキングについて

スピーカー トラッキング カメラ シ ステムを搭載したシステムでは、 ビルトイン マイク アレイと連動 するカメラを使用します。システ ムがプレゼンターを追跡して表示 するので、[カメラ操作(Camera Control)]メニューや[カメラプリ セット (Camera Presets)] を使用 して拡大または縮小する必要はあり ません。

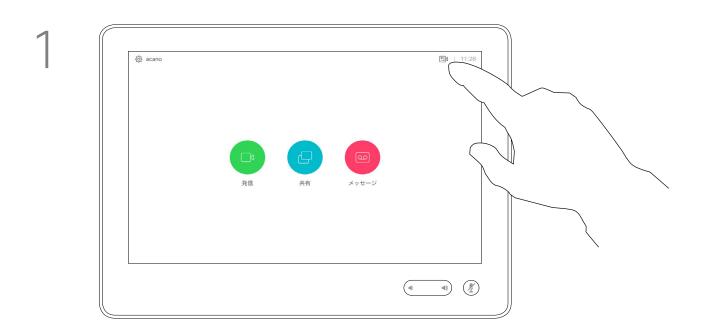
スピーカー トラッキングがアクティ ブになると、カメラ位置プリセット は利用できなくなります。プリセッ トにアクセスできるようにするに は、スピーカー トラッキングをオフ にする必要があります。

必要に応じて、このページで示され ているように、もう一度スピーカー トラッキングをアクティブにします。

注:マイクがミュート状態の場合 は、スピーカートラッキングが機能 しません。

次のページで説明するように、ス ピーカートラッキングを拡張するこ とで、ホワイトボードへのスナップ 機能やプレゼンター トラッキング機 能を追加できます。

カメラ プレゼンタ トラッキング

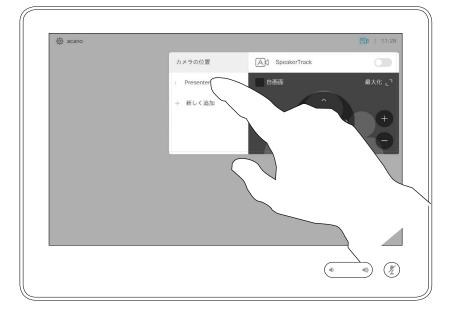


[プレゼンタートラッキング (Presenter Tracking)]を有効にするには、右上隅のカメラをタップします。



[プレゼンタートラッキング(Presenter Tracking)] を非アクティブにするには、再度プリセットを押します。

2



プレゼンタートラッキングが有効なシステムでは、カメラのプリセットがこのようになっています。スピーカートラッキングを有効にすると、カメラのプリセットにアクセスできなくなることに注意してください(詳細については前のページを参照してください)。

プレゼンター トラッキングについて

スピーカートラッキング対応のシステムには、プレゼンタープリセットが含まれている場合があります。このプリセットを動作させるには、ビデオサポートチームにより設定されている必要があります。

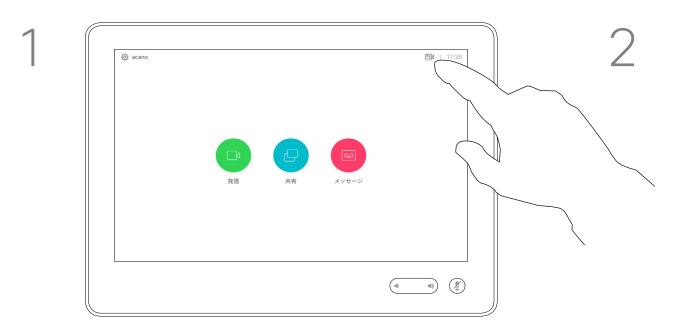
プレゼンタートラッキングでは、発表しながらステージを動き回るプレゼンターに、カメラがズームインして追跡を行います。ステージゾーンは、ビデオサポートチームによって定義されています。

プレゼンターがステージから離れる と追跡は停止します。

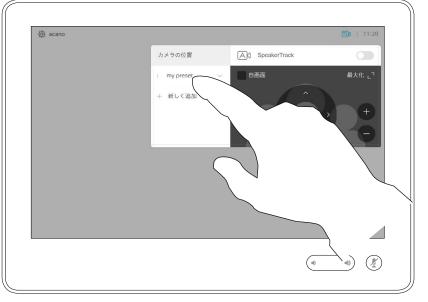
この機能を設定する手順および サポートしている製品について は、『CE9.2 Administrator Guide (CE9.2 管理者ガイド)』の会議室 システムとコーデックに関する説明 を参照してください。

カメラカメラを操作する

カメラ プリセットを使用する



通話中または非通話時(この図)に、 **カメラ**をタップします。



使用するプリセットを選択します。



終わったらメニュー以外の場所をタップします。

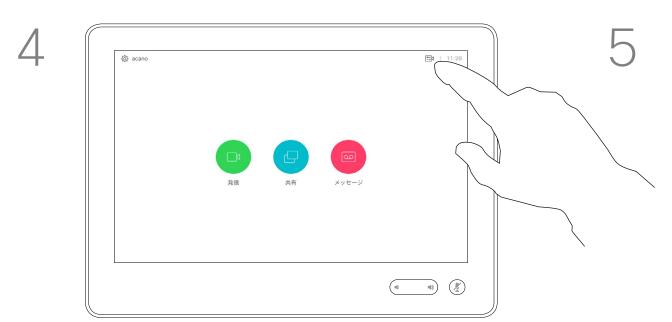
プリセット編集について

通話中は、既存のカメラ プリセット をすぐに使用できます。

で使用のビデオ システムには、複数 のカメラが装備されている場合があ ります。たとえば、参加者用のカメ ラやホワイトボード用のカメラなど です。

新しいカメラ プリセットを追加するか、既存のカメラ プリセットを変更する場合は、非通話時と同じ方法で行います。プリセットを追加したり、編集したりする代わりに、カメラのパン、傾き、およびズームを簡単に調整することも検討する必要があります。

カメラのパン、チルト、ズームを調整する



通話中または非通話時(この図)に、 **カメラ**をタップします。



パン、チルト、ズームを調整します。わかりやすいように、自画面が一時的にオンになります。

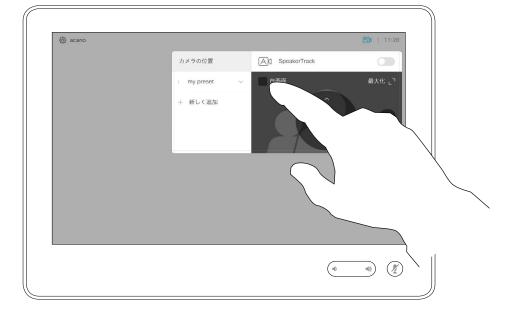


カメラ

自画面の管理

非通話時の場合

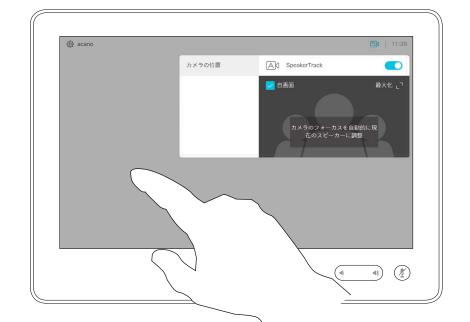
通話中または非通話時(この図)に、 **カメラ**をタップします。



[自画面(Selfview)] をタップしてオンにします。

これで、自画面の画像のサイズを変更できるほか(詳細は次のページを参照)、 カメラのパン、チルト、ズームを制御できます(詳細は前のページを参照)。

オフにするにはもう一度タップします。



終わったらメニュー以外の場所をタップします。

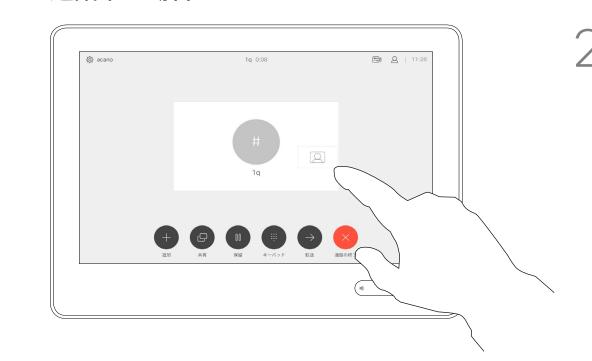
プリセット編集について

自画面には、ビデオ システムから他 者に表示される内容が映し出されま す。通常は、目的どおりの映像が他 者に表示されるかどうかを確認し ます。

自画面は PiP (ピクチャイン ピクチャ) として表示されますが、全画面でも表示できます (次ページを参照)。

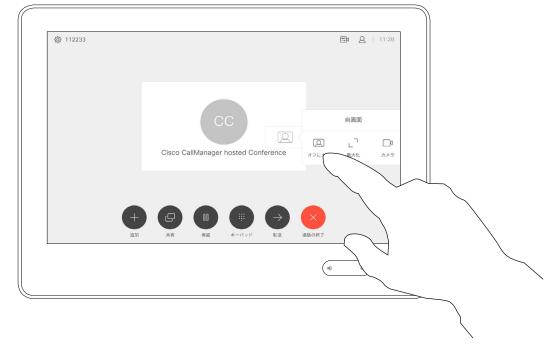
自画面 PiP の位置は、通話中も非通話時にもいつでも変更できます。詳細については、41 ページを参照してください。

通話中の場合



通話中に自画面をオフにするには、図のように自画面アバターをタップします。

通話中に自画面をオンにするには、非通 話時の場合と同じように操作します。



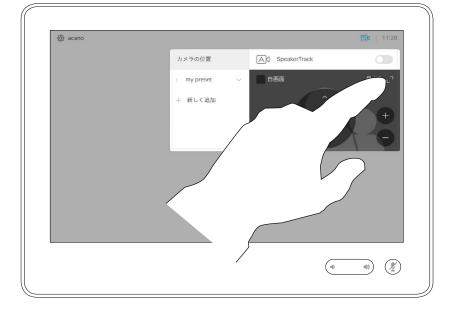
図のように[オフにする(Turn off)] をタップします。

カメラ

自画面 PiP のサイズを変更する

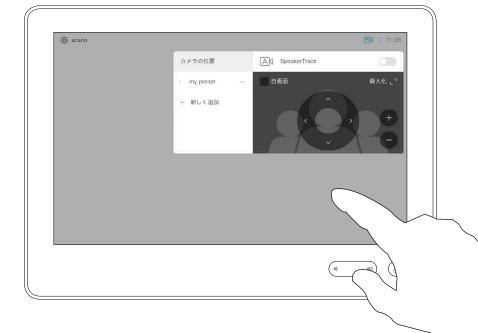
非通話時の場合

通話中または非通話時(この図)に、 **カメラ**をタップします。



自画面の画像のサイズを変更するには、[最大化(Maximize)] をタップします。

最小化するには、この手順を繰り返し ます。 3



終わったらメニュー以外の場所をタッ プします。

自画面のサイズを変更する理由

自画面には、ビデオ システムから他 者に表示される内容が映し出されま す。通常は、目的どおりの映像が他 者に表示されるかどうかを確認し ます。

自画面は、PiP(ピクチャインピクチャ)として表示されます。

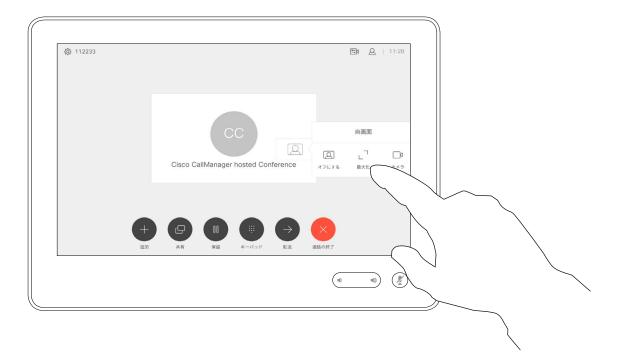
会議中に、自画面を有効にしたい場合があります。

他の参加者がよく見えるように、カメラをズーム、パン、傾けたいことがあります。見やすくするために、自画面を最大化できます。

通話中の場合

通話中に自画面をオフにするには、図のように自画面アバターをタップします。

通話中に自画面をオンにするには、非通 話時の場合と同じように操作します。

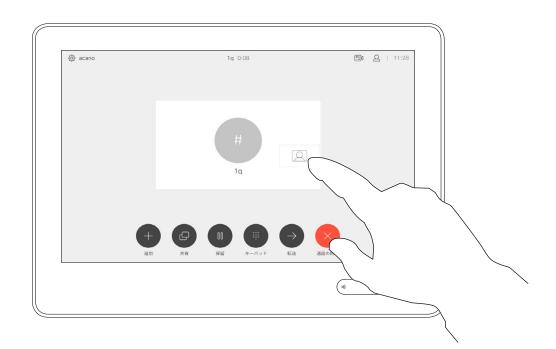


自画面の画像のサイズを変更 するには、図のように[最大化 (Maximize)]をタップします。

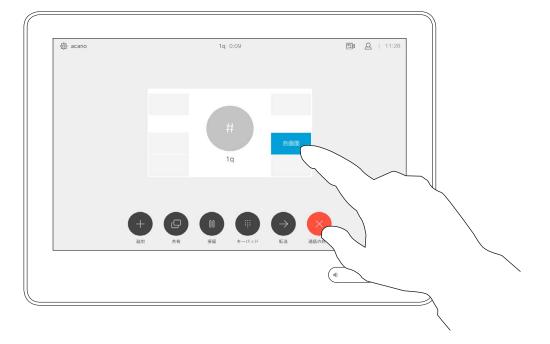
最小化するには、この手順を繰り 返します。

カメラ 自画面 PiP の移動

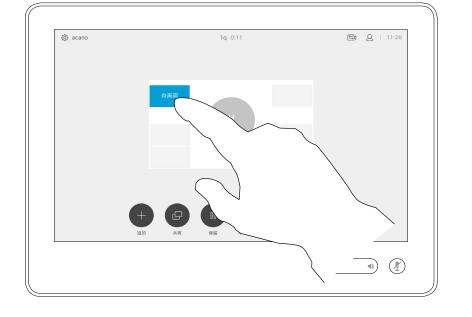




自画面の画像をタップしたままにします。

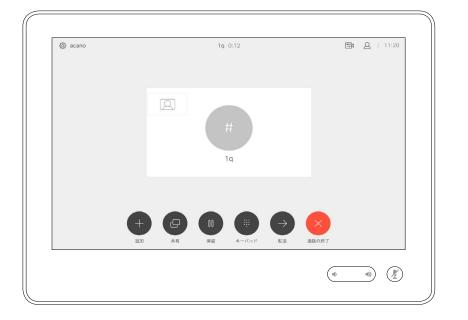


自画面の画像が青色に変わります。自画面の 画像を配置できる別の場所も示されます。画 像をタップしたままにします。



画像を新しい位置にドラッグします。この例 では、左上隅にドラッグしています。

4



画面から指を離して、画像をリリースします。 これで、自画面の画像が新しい位置に配置され ます。

自画面を移動する理由

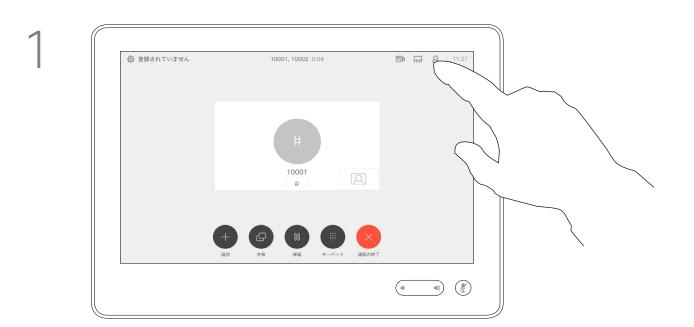
自画面には、ビデオ システムから他 者に表示される内容が映し出されま す。通常は、目的どおりの映像が他 者に表示されるかどうかを確認し ます。

自画面は、PiP(ピクチャインピクチャ)として表示されます。

会議中に、自画面を有効にしたい場合があります。たとえば、自分が画面に映り続けていることを確認するために使用できます。

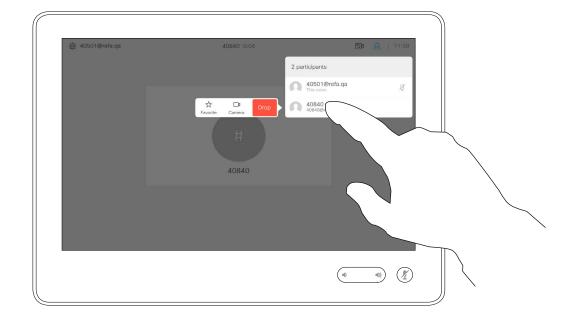
自画面の現在位置によっては、画面 の重要な部分を自画面が覆っている かもしれません。このような場合、 自画面を移動できます。

カメラ 遠端カメラ制御



通話中に、図のように、右上隅の**参加者**アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。

2



カメラを制御する参加者をタップします。

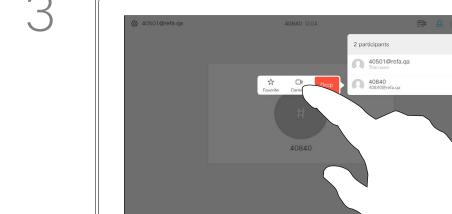
カメラ操作について

他の参加者のビデオ システムに、リモート コントロールできるカメラが 含まれているビデオ コールに参加する場合があります。

このような場合、自分のビデオシステムからそれらのカメラを制御できます。これは遠端カメラ制御(FECC)と呼ばれます。

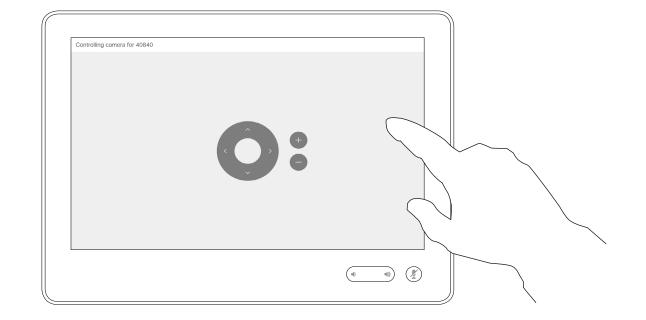
遠端システムでカメラトラッキングが有効化されている場合(カメラが話者を追跡表示している場合)、FECCオプションは提供されません。

リモート カメラのプリセットにアク セスすることはできません。



カメラをタップします。

4



リモート カメラを調整します。終わったら、カメラ制御ボタン以外の場所を タップします。



設定

設定にアクセスする



設定

デバイス情報

言語
日本語 〉
タイムゾーン ベルリン,マドリッド,バリ、ローマ 〉
音声
システム音量 50% 〉
マイクチェック 〉
画面とビデオ
Snap to whiteboard 〉
カメラビュー 〉

設定について

[システム情報 (System Information)] ページには、IP アドレス、MAC アドレス、SIP プロキシ、インストールされているソフトウェアのバージョン、デバイス名などの情報が表示されます。

また、各種の設定が可能な一連のウィザードも用意されています。

さらに設定を行う場合は、Web インターフェイスを使用して システムにアクセスする必要があります。その場合は管理者ク レデンシャルが必要です。

© 2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標で でいる。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 2017 年 12 月現在のものです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合せ先

シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp